

現代中国地域研究(NIHU)連携拠点愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)
文化的アプローチ班主催

2015年度ICCS文化班ワークショップ

四川民族地区における 文化資源の保護と開発

◆報告

「2008汶川地震後のチャン族と
チャン文化」

耿 静 四川省民族研究所研究員

◆司会・通訳

松岡 正子 愛知大学現代中国学部教授

2015年7月23日(木)

9:00-10:30

愛知大学名古屋校舎 講義棟9階L901教室
聴講無料・一般公開・申込不要・日本語通訳有

【Profile】

耿静:チャン族。中央民族大学卒、四川大学歴史文化学院研究院(博士課程)修了、博士。四川省民族研究所研究員、専門は文化人類学。『汶川震後の民俗』(民族出版社2014年)、『羌郷情』(巴蜀出版社2006年)、『長江上遊四川横断山区生態移民研究』(共著、民族出版社2007年)、「羌語与羌族文化生態保護実験区建設」(『貴州民族研究』2012年第1期)、「遷移、社会ネットワーク和知識体系建構—四川茂県董店坡村震後羌族自発移民的適應性研究」(『西南民族大学学報』2012年第11期)等多数。

アクセス



お問い合わせ

愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)

〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60番6

TEL:052-564-6120/FAX:052-564-6220

E-MAIL:iccs-sympo@ml.aichi-u.ac.jp URL:http://iccs.aichi-u.ac.jp/